

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

皮膚の進化と「あるべきスキンケア製品」

皮膚は、外部環境からの保護・強化のために進化しました。動物が水中から陸上に移動し、陸上で生きるために必要な適応を行いながら進化し、角質層(皮膚バリアの要)が形成されました。具体的には、皮膚の表面に角質層が形成されることで、動物は陸上での生活を維持し、繁殖することができるようになりました。

●陸上で生きるために必要な適応変化:

1. 水分保持: 皮膚の角質層が水分を保持し、乾燥から体を守ります。
2. 紫外線防御: 陸上では太陽の紫外線にさらされるため、角質層が紫外線から体を保護します。
3. 水分蒸散や病原体の防御: 陸上では水分が蒸発しやすく、多くの病原体が存在するため、皮膚が物理的なバリアとして機能し、水分の蒸散や病原体の侵入を防ぎます。
4. 温度調節: 陸上の気温変化に対応するため、皮膚が体温を調節する役割を果たします。

この角質層(皮膚バリア)は、水分を保持し、水分の蒸発を防ぎ、紫外線や病原体の侵入から体を守る役割を果たしています。これらの適応により、動物は陸上での生活を維持し、繁殖することができるようになりました。

人類は、1960年代半ばに「より美しく見せたい」という欲望を実現するためのスキンケア製品を発明しました。それまでの肌の健康を維持する目的のスキンケア製品とは異なり、美容目的の製品が広く普及しました。

しかし、現在では、石けんや洗顔料による過剰な洗顔や合成界面活性剤配合の製品の使用が、肌のバリア機能を低下させ、異常角化現象や炎症性皮膚疾患を引き起こし、肌の問題の原因となっている事実を、ほとんどの人は知りません。なお、異常角化現象と炎症性皮膚疾患の両方でターンオーバーが早くなり、未熟な細胞が作られることは共通しています。その結果として現れる症状や問題点が異なります。

美容目的のスキンケア製品が広く普及した現代では、肌トラブルは避けがたい状況です。しかし、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品「海森水」を使用することで、肌トラブルを抑制しながら健やかな肌に戻します。その後、美容目的のスキンケア製品やメイク製品を使用して美容を楽しむことができます。これからの時代は、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品「海森水」のような製品を使ったスキンケアが主流になり、肌の健康と美容の両立を図る時代になるかと思えます。